

2006 関西学生サッカー選抜チーム オーストラリア遠征
 ~2006 Japan Australia Study Link Cup in Melbourne,Australia~
 2006.8.7~2006.8.12

Date・Weather	第2戦	Time	Place
2006年8月10日(木)・晴れ	vs University of Melbourne	19:00	Darebin International Sports Centre

◇試合結果◇

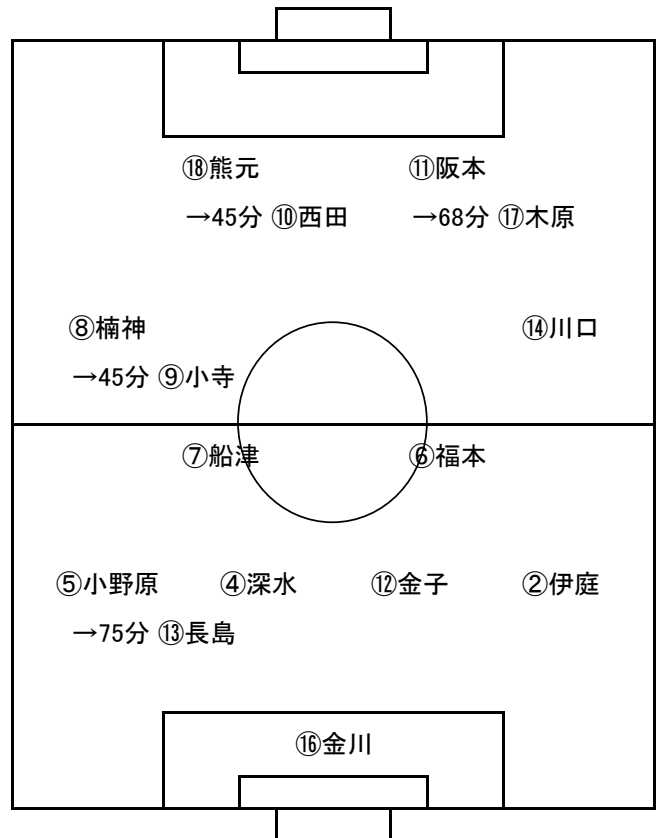
関西学生選抜 2 (1 - 1) 1 University of Melbourne

◇得点◇

15分 ⑧楠神
85分 ⑩西田

◇得点◇

25分 *得点者不明



《戦評》

昨日より少しスタメンを入れ替えてのぞんだ第2戦。対メルボルン大学戦だが、関西選抜メンバーは開始から単発なパス回しや、単発な動きが目立つゲームとなった。しかし、前半15分、阪本(関西大)が起点となり、福本(立命大)へ、福本が右サイド川口(関西大)へ、うけた川口は右サイドで深く持ち込みDFとGKの間に早いクロスを送り、これに楠神(同大)があわせ先制する。しかし、25分にCKを与え、ショートコーナーをヘディングであわされ一度はポストに当たるが、それを詰められ1-1の同点になる。

前半を1-1の同点のまま終えた関西選抜は、後半開始から熊元(大体大)に代え西田(阪南大)、楠神に代え小寺(阪南大)を投入する。しかし、なかなか点を奪う事が出来ない。

68分に阪本に代え木原(阪南大)、75分に小野原(関学大)に代え長島(関西大)を投入。昨日と同様3バックにし、1点を取りに行く。そして、85分、右サイド伊庭(立命大)がスピードにのったドリブル突破からつぎつぎと相手をかまし、フリーになった中央、西田へ、これを難なく西田が決め、2試合連続の決勝ゴールとなり、2-1で勝ちを収めた。

昨日のゲームと比較してシュートに行く場面が非常に少なく、決定的なシーンもあまりつくれなかった。選抜を組んでトレーニングの期もなくぶっつけ本番に近い形で入ったので難しくはあるが、もう少し動きの連動性、パスの連動性がほしかったゲームだった。

(文責:関西学生選抜コーチ 島岡 健太)